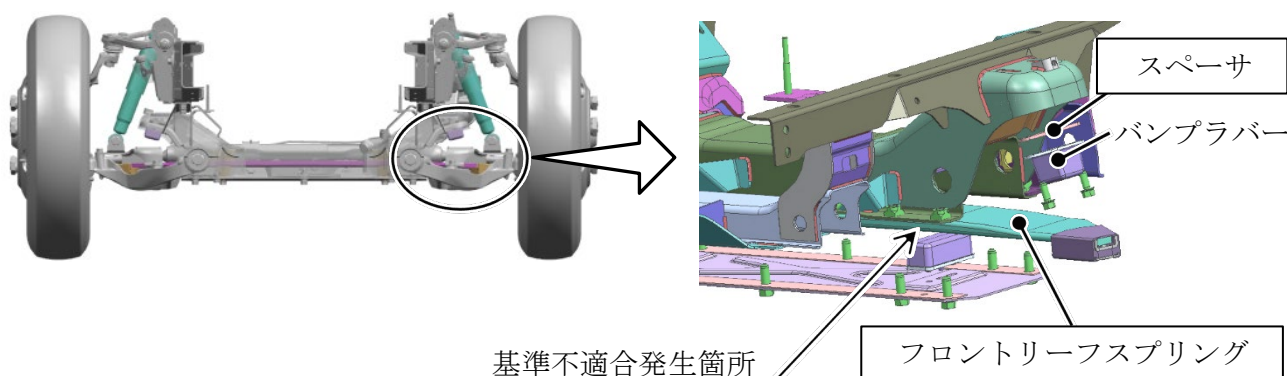


改善箇所説明図



前輪緩衝装置全体図



前輪緩衝装置において、フロントリーフスプリングの設計検討が不十分なため、高重心および積載重量が大きい架装で使用された場合、ロール時の入力に対する強度が不足している。そのため、そのまま使用を続けると、当該リーフスプリングが折損し、最悪の場合、走行安定性が損なわれるおそれがある。

改善の内容；

全車両、フロントリーフスプリングを対策品に交換し、バンブラバーにスペーサを追加する。

識別：助手席側ドア開口部のシリアルナンバープレート上部中央の位置に、識別シール（金色）を貼付する。

注： は、措置する部品を示す。